



刈った赤米を干すため、はぜに掛ける児童ら

## 赤米は新本の宝物

### 赤米の稲刈り

赤米の稲刈りが11月6日、新本の本庄国司神社の神田で行われ、新本赤米保存会の会員6人と新本小学校5年の18人が手際よく刈り取りをしました。

保存会の会員が子どもたちに鎌の使い方や刈り方を指導。子どもたちは一株一株ていねいに刈っていました。また、はぜ掛けも体験。赤米は丈が長いので、子どもたちは大きく振り上げて掛けていました。

新本小学校では毎年、赤米について学習をしており、田植えや稲刈り、もみすりなどを体験しています。



清音公民館



西公民館



昭和公民館



山手公民館



東公民館

## 芸術の秋、日ごろの成果を披露

公民館の講座生が日ごろの成果を作品展示や芸能発表で披露する文化まつり（文化祭）が10月中旬から11月上旬にかけて、東・西・昭和・山手・清音の各公民館で開かれ、多くの人でにぎ

わいました。訪れた人たちは、展示された作品を立ち止まってじっくりと見たり、舞台上の芸能に盛んな拍手を送ったりしていました。

### 公民館の文化まつり

## ミニフォト

### 仲良く、いっしょに掘ったよ



きびみどりを掘る子どもたち

11月9日、市シルバー人材センターは小寺地内の畑でも掘りを通じた国際交流会を開催。ブラジル人学校エスコラ・オカヤマ・モモタロウの児童と総社北幼稚園の園児が参加し、大きく育ったきびみどりを仲良く掘っていました。

### 100歳 おめでとうございます



市長と談笑する小出さん

小出武一さん（美袋）が10月25日、100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。石絵に熱心だった小出さん。長寿の秘訣については、「趣味の石絵や盆栽をしながら楽しく生活してきたこと」と話してくれました。

### 100歳 おめでとうございます



家族からの花束に微笑む堀さん

堀治子さん（北溝手）が10月20日、100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。花の世話や野菜の栽培が趣味の堀さん。「趣味のおかげで、よく体を動かしてきたことが、長寿の秘訣です」と話してくれました。

## 情景を想像し、語りを楽しむ

### 民話の祭典

来秋県下で開催される国民文化祭のイベントとして民話の祭典が11月8日、山手公民館で開かれました。

島根県や鳥取県の団体をはじめ、総社南幼稚園のママブックや阿曾小学校の児童、吉備路伝説を語る会など15団体約60人がさまざまな語りを披露。出演者の語る場面を一つひとつ想像しながら聞き、観客は話を楽しんでいました。



「温羅と桃太郎」を語る吉備路伝説を語る会の会員（写真上）。総社南幼稚園ママブックの大型紙芝居「たぬぎのちやがま」（写真下）



## ウォーキングで秋の吉備路を堪能

### そうじゃ吉備路ウォーキング大会

そうじゃ吉備路ウォーキング大会が11月1日、3コースに約600人が参加して行われ、参加者は色づき始めた景色を楽しみながらウォーキングを楽しみました。

コースは、備中国分寺周辺を巡る5km、宝福寺を目指す10km、鬼ノ城を訪ねる25kmの3コース。5kmコースでは子どもを対象にクイズが行われるなど、家族や友達同士でおしゃべりを楽しみながら秋の吉備路を堪能していました。



笑顔いっぱい5kmコースを楽しむ参加者

### 吉備線、伯備線の興味深い話



資料を映し出して話す久保さん

10月31日と11月7日、吉備線と伯備線をテーマにした郷土史講座を市図書館が開催。この2線の研究をする久保豪さんが、古い時刻表や写真などをパワーポイントで示しながらする解説に、約30人の参加者は聞き入っていました。

### 「くうたん」デビュー



「くうたん」は自転車のかごに

市観光協会のマスコットキャラクター「くうたん」人形が、11月3日に行われた「みちくさ小道」のイベントでデビューしました。市の鳥のタンチョウをモチーフにしたデザイン。まちで見かけたら、かわいがってください。

### 指導力の向上のために



授業をする文部科学省の職員

文部科学省の職員が11月2日、総社小学校で英語の授業のあり方を提案。指導力の向上に役立てようと市教育委員会が依頼したもので、市内の小・中学校の教諭約50人が、児童とのやり取りや授業の進め方などを熱心に研修しました。